

人・農地プランを活用し地域農業の発展を

農業が厳しい状況に直面している中で、地域農業を発展させていくためには、人（担い手）と農地の問題を一体的に解決する必要があります。

それぞれの集落・地域が抱える農業に関する問題を解決するため、集落や地域で話し合いを通じてできる「未来の設計図」を「人・農地プラン」といいます。

町では、まず地域ごとの実情に応じた適切な話し合いが大切と考えています。その背景には、農業者の高齢化や耕作放棄地の拡大、後継者不足・農地流動化（農地の貸し借り）が進まなくなったなどの現状があるからです。

今後の農業の中心となる後継者の確保や育成、農地をどのように活用するか、地域農業のあり方などについて、毎年話し合いを行い、見直すことが大切です。



◎問い合わせ先
役場農林課農政係
☎ (88) 5670 [直通]



←農業経営者のみでなく、配偶者や子ども、農業法人、新規就農者などが参加し、話し合うことが大切

農林課が教える知って得するマメ知識

「人・農地プラン」のさまざまなメリット

☆中心経営体に位置付けられると…

①青年就農給付金の給付

→原則 45 歳未満の認定新規就農者で独立・自営就農するかた

②スーパーL資金の当初5年間無利子化

→認定農業者

※スーパーL資金とは、農業経営改善計画の認定を受けた人の自主性と創意工夫を生かした経営改善を、資金面で応援する総合的な資金

③経営体育成支援事業

適正な人・農地プラン作成地域で経営改善を目指す意欲ある経営体に、経営規模の拡大や多角化を図っていくために必要な農業用機械・施設整備費の一部を国が直接支援

☆農地中間管理機構に農地を貸し付けると…

①経営転換協力金・耕作者集積協力金の給付

→農地を貸し付けるかた

②地域集積協力金の給付

→地域で一定割合以上の面積をまとめて貸し付ける地域

30日	29日	28日	27日	26日	25日	23日	22日	20日	19日	18日	17日	15日 15日 16日	15日	13日 13日 14日	11日	10日	9日	7日	6日	5日	4日	2日	1日		
北薩摩観光物産展トップセールス鹿兒島市第1回つわぶきウォーキング (町内)		長島町議会第4回臨時会 (役場)	平成27度当初予算編成説明会 (町開発総合センター)		町長算査定 (役場)	町長相談 (長島町商工会)	第7回おさかな祭り (薄井)	県国保地域医療学会 (鹿兒島市)	地方創生担当大臣全国懇談会 (東京都)	国保制度改善強化全国大会 (東京都)	全国水産業振興・漁村活性化推進大会 (東京都)	全国町村長大会 (東京都)	南九州西回り自動車道建設促進期成会 (東京都)	後期高齢者医療連合会定例会 (鹿兒島市)	日本離島センター臨時評議員会 (東京都)	安全祈願祭 (上揚)	鷹巣駐在所建築および旧庁舎跡地整備	桃源郷本館改修一部増築竣工式 (桃源郷)	幣串漁港浮き桟橋完成祝賀会 (獅子島)	市町村長防災研修会 (鹿兒島市)	県市町村長防犯研修会 (鹿兒島市)	町村会福祉事務所研修会 (鹿兒島市)	町村会理事會 (鹿兒島市)	九州電力説明会 (鹿兒島市)	平尾中学校創立50周年記念式典 (平尾中学校)

町長動静 11月